

## 第6回 ゲノム病理標準化講習会プログラム

日時：令和2年2月1日（土）

場所：大阪大学医学部学友会館・医療情報センター 銀杏会館（阪急電鉄・三和銀行ホール）

受付開始	9:00～
1. 開会の挨拶	9:30～9:35
日本病理学会 ゲノム病理診断検討委員会委員長	小田義直
2. 講義	
1) バイオバンク構築の基礎	9:35～10:05
京都大学医学部 創薬医学講座 鶴山竜昭	
2) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程第1部の解説： 研究用病理組織検体の適切な採取部位	10:05～10:35
九州大学医学部医学研究院 形態機能病理学 小田義直	
3) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程第2部の解説： 凍結組織検体採取・保管・移送方法	10:35～11:35
慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄	
— 昼食 —	11:35～12:40
4) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程第3部の解説： ホルマリン固定パラフィン包埋標本の適切な作製・保管方法	12:40～13:40
慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄	
— 休憩 —	13:40～13:55
5) ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程の解説	13:55～14:55
北海道大学病院 ゲノム・コンパニオン診断研究部門 畑中 豊	
6) ゲノム研究・医療に対応する病理検査室の整備と運用：	14:55～15:25
九州がんセンター 病理診断科 田口健一	
7) 認定病理検査技師の役割	15:25～15:55
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 滝野 寿	
3. 閉会の挨拶	15:55～16:00
日本病理学会 病理専門医制度運営委員会委員長	森井英一